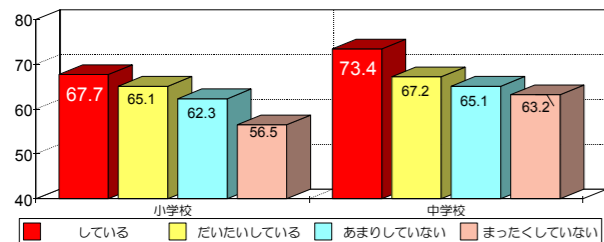


家庭実践項目③ 学習習慣を身につけましょう。

家で宿題をすることに加え、自分で計画を立てて勉強をするという子どもたちの正答率が高い結果となっています。授業だけでなく家庭学習においても、受け身ではなく主体的に取り組むことでさらに効果が上がることが期待できます。

●家で自分で計画を立てて勉強をしている。



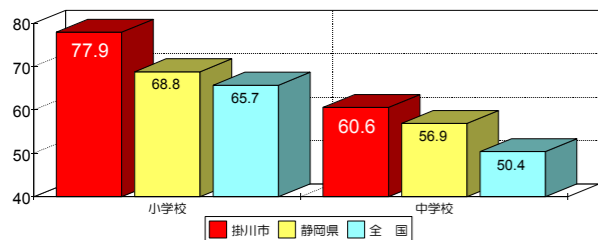
*グラフの説明(見方)

家で自分で計画を立てて勉強を『している。』と答えた子の正答率は、小学校で67.7%、中学校で73.4%である。『まったくしていない』と答えた子の正答率は、小学校で56.5%、中学校で63.2%である。

家庭実践項目④ 読書する時間をつくりましょう。

文章を読み、書かれている内容を的確に捉えるためには、読解力が必要です。短時間でも読書を継続していくことや、新聞に目を通すことで、初見の文章であっても内容を理解できるような力が身につきます。また、語彙が増えることで、表現力も向上します。【肯定的回答の割合：%】

●1日に10分以上読書をする。



●授業以外で全く読書をしていない子の割合

| | 小学校 | 中学校 |
|-----|-------|-------|
| 掛川市 | 7.4% | 24.9% |
| 静岡県 | 15.5% | 29.1% |
| 全国 | 18.7% | 34.8% |

全く読書をしていない子が、県や全国と比較して非常に少ないです。

Let's Try! ③④

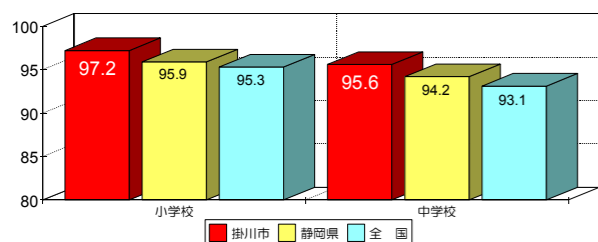
- ☑家庭で読書をしたり、新聞を読んだりする時間を確保しましょう。
- ☑様々な文章を読み、言語感覚を磨きましょう。



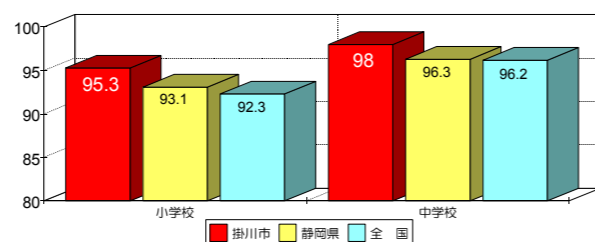
家庭実践項目⑤ 規則正しく、規範意識をもって生活しましょう。

規則正しく生活する子、規範意識が高い子の正答率が高いという傾向が見られました。子どもたちが社会人として立ち振る舞う姿を思い浮かべ、実践項目①の家族での団らんなどを通し、家庭でも規則正しく生活すること、規範意識を育てていくことが大切です。【肯定的回答の割合：%】

●朝食を毎日食べている。



●学校のきまりを守っている。



Let's Try! ⑤

- ☑早寝・早起き・朝ご飯。規則正しい生活をしましょう。
- ☑規則を守る、いじめは許さない。規範意識を高めましょう。



掛川市では、子どもたちの「生きる力」(「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」までを含めて構成する力)を育てることを目指し、学校と家庭や地域などが連携して、市民総ぐるみの教育を進めています。この「かけがわの子どもたち」は、子どもたちのよりよい成長のための家庭教育の手引きとなります。各家庭で、子どもたちへの取組が充実したものになるよう御理解・御協力をお願いします。

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果から見えてきたこと

本年度の全国学力・学習状況調査(小学校6年児童及び中学校3年生対象)の結果を、掛川の子どもたちの特長とともにお知らせします。



キラリと光る かけがわの子どもたち

掛川の子どもの頑張っているところや良いところがたくさんあります。その中でも、全国の子供たちと比較して、特に「キラリと光る」内容を紹介します。

| 設問 | 小学校 | | 中学校 | |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|
| | 掛川市 | 全国 | 掛川市 | 全国 |
| ○自分にはよいところがあると思う。 | 85.3% | 81.2% | 78.5% | 74.1% |
| ○地域の行事に参加している。 | 92.1% | 68.0% | 90.1% | 50.6% |
| ○難しいことでも、挑戦している。 | 82.9% | 79.0% | 76.5% | 70.3% |

各教科に関する調査結果

<全国・県の平均正答率を100とした場合の市の平均正答率の指標値>

【全国比較指標値】

| 小学校 | | 中学校 | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 国語 | 算数 | 国語 | 数学 | 英語 |
| 101 | 100 | 105 | 108 | 103 |

【県比較指標値】

| 小学校 | | 中学校 | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 国語 | 算数 | 国語 | 数学 | 英語 |
| 100 | 100 | 102 | 104 | 100 |



掛川市の調査結果を指標値で全国と比較したところ、小学校・中学校ともに、全国と同じか、それ以上の結果でした。



詳細は掛川市ホームページを御参照下さい。
http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/life/bamen_kyoiku/index.html

「学力の高い子 掛川 10 の法則」(令和元年度)



「令和元年度全国学力・学習状況調査」において、「児童生徒質問紙」と「学力」の相関関係を分析すると、次のような子どもたちは国語や算数・数学、英語の平均正答率が高い傾向にあります。

- ① 話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができる。
- ② 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいる。
- ③ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている／起きている。
- ④ 家の人と学校での出来事を話す。
- ⑤ 地域の行事に参加している。
- ⑥ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。
- ⑦ 読書を1日10分以上している。
- ⑧ 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ⑨ 学校の規則を守っている。
- ⑩ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。



家庭での実践に向けて

掛川市教育委員会では、平成26年3月から、毎年「かけがわ学力向上ものがたり」を作成し、学校・家庭・地域で共通理解を図り、市民総ぐるみによる子どもたちの学力向上の実現を目指しています。各学校では、自校の実態や結果分析から目指す児童・生徒の姿を設定し、学校独自の特色ある取組を具体的に示した「我が校のものがたり」を作成し、学力向上のための授業改善等に努めています。

各家庭においては、子どもの生活習慣や学習習慣をよりよいものにする「家庭実践項目」や「家庭のものがたり」※を参考に、子育てをしていただきたいと思ひます。

【家庭実践項目】

- ① お茶の間に家族と団らんしましょう。
- ② 地域とのつながりを深めましょう。
- ③ 学習習慣を身につけましょう。
- ④ 読書する時間をつくりましょう。
- ⑤ 規則正しい生活をするとともに、規範意識を高めましょう。



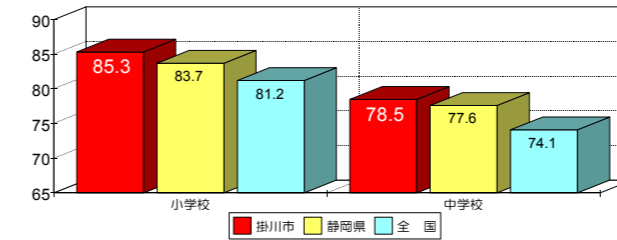
※「家庭のものがたり」とは、「かけがわ学力向上ものがたり」の家庭版として、家庭教育の取組を紹介した冊子です。掛川市ホームページにも掲載しています。

家庭実践項目① お茶の間に家族と団らんしましょう。

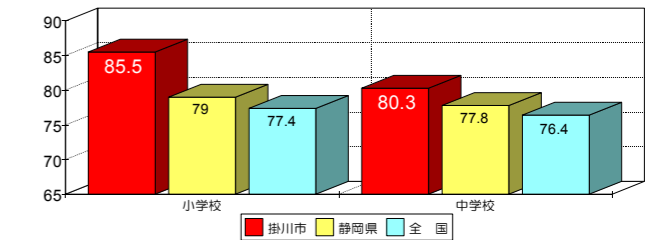
掛川の子供たちは、全国や県の結果と比較し、自己肯定感が高いことがわかります。学校でも先生がよいところを認めるようにしていることも要因の1つと考えられます。そして家の人と学校での出来事をよく話す割合が高い傾向にあります。家庭が子どもの話を聞き、認め、励ます場となっていることがうかがえます。

【肯定的回答の割合：％】

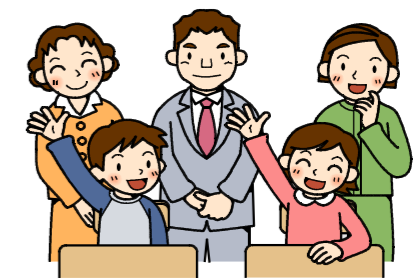
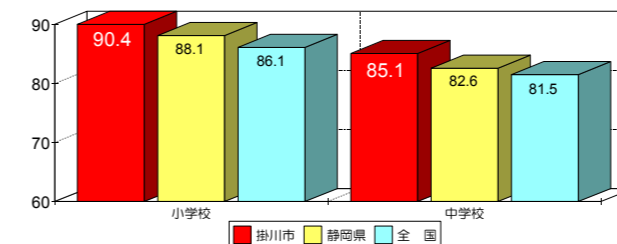
●自分には、よいところがあると思いますか。



●家の人と学校での出来事について話をしますか。



●先生はよい所を認めてくれますか。



Let's Try ! ①

- ☑家庭での会話の場面をつくりましょう。
- ☑良い所を積極的に見つけ、伝えましょう。
- ☑学校の出来事やほめられたことを話しましょう。
- ☑お茶の間に過ごす時間を大切にしましょう。

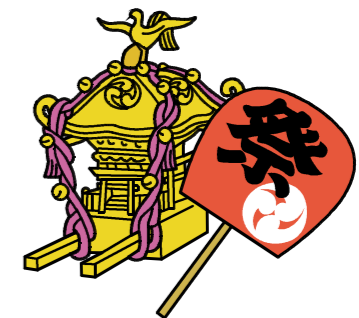
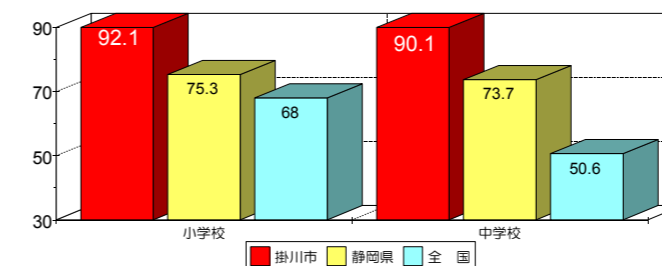


家庭実践項目② 地域とのつながりを深めましょう。

掛川市では、学園化構想を中心として、地域ぐるみで子どもを育てる意識が浸透してきています。学校では、各教科や総合的な学習の時間などにおいて、地域の方々が得意分野を生かし、子どもたちに様々なことを教えてくださっています。子どもたちが地域に目を向け、地域と関わることで、よりよい成長につながり、学力にも好影響を与えていると考えられます。

【肯定的回答の割合：％】

●住んでいる地域の行事に参加している。



Let's Try ! ②

- ☑祭典やボランティア活動など、地域の行事に積極的に参加しましょう。
- ☑地域の良さに、目を向け、自分にもできることを考えてみましょう。

